

サラリーマン「再起動」マニュアル 大前 研一

なぜ今「再起動」が必要か？

- 見えない大陸＝新しい潮流が出現した
- このビジネス新大陸に乗り遅らなければならない
- 「お金の使い方」「時間の使い方」「住む場所を変える

「再起動」のための準備運動

- 「時間がない」という言葉は禁句
- 盲進しのマールは持たない
  - 朝は、自分の人生の構成を変える時に重要な意味がある
    - 朝の時間帯を上手に使うか
    - プロフェッショナルになれるか否か
- 英語、数学、財務
- 「子供にかけたいお金の値止」「子供の質」は無関係、あるいは反比例する
  - できる限りお金をかりない
- 元手ゼロの「バーチャル海外投資」
- 人気企業に就職するということは、自分で自分の能力が発揮できない会社を選んでいる
- 世の中のものものはレールから外れないと平均給与しか稼げない

新大陸の山の種

- 高齢者の最大の敵は病気ではなく孤独
- 物欲・出世欲喪失世代
- 大きなマイナス

「ウェブ2.0」時代のシー・チェンジ

- 放送と通信が融合するのではなく、放送が通信の一部になっていく
- 受信能力に基づいて処理能力で生きてきた人は価値が解く
- 世界中に存在するクライアントと発信することによって、自分あるいは自社の能力を何倍にも広げていける人々に、大きな力が与えられる
- 地デジ完全移行は、すべてのテレビ番組のチューブ化を意味する

「新大陸エグゼレントカンパニー」の条件

- 「業界」という言葉があるが、今やこの「業界」にその会社のトップの目を向かしている元凶である
- ウェブ2.0型企業と1.0型企業の違いは、顧客ニーズの変化をすぐに感知して対応できる企業体質になっているかどうか
- ウェブ2.0という概念自体が中間管理職なるもの存在を否定している

「中年総合力」を身につける

- 自己否定する
  - 最悪なのは人間と役割分担を決めてしまふケース
- プロジェクト
  - 「嫌わず嫌いな人間とタシを食え」
    - プロジェクトには「専断」が必要
    - 恐ろしく嫌わなければならない
- インプット
  - クリッピングサービス
  - クラスティスケーション
    - 自分の足で歩き回る
      - 定点観測して「インスピレーション」を働かせる
      - いろいろな人に会う
- 中年から伸びるためには「総合力（経営力）」が必要
- 「上も下もない」「付和雷同しない」というのは、企業の中で非常に重要な能力
- 「アウト組」になりたくないから、言ひれなくてもやる、自ら進んで頼心仕事にチャレンジする、上司が見てなくても自分のために奮い、世の中の利益対象に興味を持って徹し勉強する。
  - 自分の年齢プラスマイナス15歳の人を研究する
  - 我慢をしない一方で、自分の好きなことには以上エネルギーを出し、徹夜仕事も厭わない
  - ヒーローズボートをたぐん作る
    - 会社の組織は絶対に大きくはならない
  - 自分の価値観やライフスタイルは一致する反逆児のような上司がいると、尊敬してとことんついていく
- 「世代を超えて「精熟製造機」になること
- 35歳以上になったら、プロフェッショナルやオーガナイザーの能力が最も要求される
- 基本的にはどうも組織の企業は、もはや活性化しない
- 5年後の世の中の動向や家庭の財産の動向などを予測しながら、口に出さずシナリオを書いていく「シナリオプランニング」が効果的
  - 新聞紙ほどの大きな企画専用紙を横長に使い、その左下から書き始める
- プレゼン
  - データに基づいてすべてを自分の頭で組み立て、トップが最後はどう意思決定すればよいかというのを、一言でいなければならない
  - 「イエスノー」に相手に意思決定を迫ることができる訓練を今すぐ始める